

今後 10 年間の施策と取組の方向性（盛岡広域振興局）

	施策の方向性	取組の方向性
1.IT・ものづくり産業 健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化	【10年後の目指す姿】 AI や IoT 技術を活用した生産性の向上や効率化が進展し、情報関連産業が管内の産業全体を活性化し、管内経済を支える産業に成長しつつある。	
	1 情報関連産業の新たなビジネス展開の促進 2 情報関連産業の新産業(医療分野、ILC 加速器関連等)への参入の支援 3 地域経済の担い手となる情報関連産業及びものづくり産業の中核企業の支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造業、農業分野、教育分野への地元情報関連企業の参入を促進し、受託型から自社開発型の企業を育成 ● IT を活用し、製造業や農業等の効率化(人材不足対応等)、活性化に貢献 ● 医療分野、ILC 加速器関連など新産業への参入を支援 ● 産学官連携の強化による起業・創業の支援 ● 地域未来投資促進法に基づき策定した岩手県基本計画に基づき、地域経済の担い手となる情報関連産業及びものづくり産業の中核企業が取り組む事業展開を支援し、地域内取引の拡大、受注の機会の増大等を促進
2.観光産業 健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化	【10年後の目指す姿】 旅行者の行動範囲の拡大や旅行ニーズの多様化に応じて、管内・県内の魅力ある観光資源を生かしたハード・ソフトの受入態勢と、より広域的なネットワーク（三陸沿岸、平泉、十和田湖、角館等）が構築され、国内外からの観光客で地域がにぎわい、活発な交流を通じた多文化共生の地域社会が形成されつつある。	
	1 地域資源を生かした魅力的な観光地づくり 2 観光人材の育成や二次交通などの受入態勢の整備 3 効果的な情報発信と誘客活動の推進 4 国際観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 食産業や地場産業と連携した旅行商品モデル造成支援(プレミアム観光) ● 団体旅行から個人旅行への移行を踏まえ、多様なニーズに沿った旅行商品モデル造成支援(体験メニューの造成等) ● 市町、観光・商工団体等と連携した人材の育成(「おもてなし」の具現化、外国語対応等) ● タクシーの相乗り等、シェアリングエコノミーを視野に入れた観光モデルの創生 ● ICTを活用した魅力ある観光情報発信 ● 外国人旅行客の誘客・受入環境整備(飲食店メニューの多言語表示等を促進)
3.食産業 健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化	【10年後の目指す姿】 第一次、第二次、第三次産業の連携により、地域に根差したオリジナルで、優れた商品（特産品、グルメ、スイーツ等）が常に開発・生産・発信され、国内外での取引が拡大するとともに、食産業が地域経済活性化の中核となり、農業、商業、観光産業などの発展に寄与している。	
	1 地域を牽引する事業者・人材の育成と中核事業者を中心とした産業活性化の推進 2 国内外で評価される商品の開発 3 販売経路の多様化による生産物の販売力強化 4 観光と連携した食産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の特性を生かした異業種連携や6次産業化に挑戦する中核的事業者・人材の育成 ● 生産性の向上や経営革新に取り組む事業者の育成 ● 国内外それぞれの市場ニーズの把握と対応した商品開発を支援 ● 誘客の目玉となる新たな看板商品(特産品(土産品)、グルメ等)の開発を支援 ● 地域の商品を総合的に売り込む地域商社の育成と地域商社を活用した販路拡大 ● 「食」の魅力を観光に取り込んだ旅行商品の開発支援

	施策の方向性	取組の方向性
<p>4.農業</p> <p>健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化</p>	<p>【10年後の目指す姿】 カイゼン、ICT等革新技術の普及による生産性の効率化や輸出拡大による経営の高度化が図られ、高い所得を安定的に確保できる経営体の活躍等により、地域資源を活用した農村の活性化が進められ、米・園芸・畜産の3部門のバランスがとれた管内各地域の農業が持続的に発展している。</p> <p>1 次世代の担い手となる農業者等の確保・育成</p> <p>2 生産基盤の強化による産地の持続的な発展</p> <p>3 地域資源等を活用した農村の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● カイゼン実践・定着、ICT等革新技術の導入支援 ● 生産者組織等における収益力・経営管理能力(人材育成能力等)の向上支援及び新規就農者等の雇用定着支援 ● 需要に応じた産地づくりの推進(銀河のしずく生産者マスターの拡大)、販売先等との関係強化(東京都の五つ星お米マスター(米穀店の若手経営者)との交流継続) ● 土地利用型園芸品目(ズッキーニ、加工用トマト、たまねぎ等)の導入促進、生産性の向上に向けた基盤整備等の推進 ● 高度な環境制御機能を備えた園芸ハウス等の導入支援 ● 輸出先基準に対応した技術指導、海外バイヤー等との関係強化 ● ICT等革新技術の導入による大家畜の繁殖及び肥育成績の向上や外部支援組織の充実等による畜産生産基盤の強化 ● 地域住民と若者の交流による農村地域の活性化に向けた仕組づくり・活動の支援 ● 農村体験の受入態勢強化等による農村と都市等との交流促進 ● ICT等革新技術を利用した効率的な鳥獣被害防止体制の構築支援 ● 風土・伝統・歴史等の地域資源を活かした農畜産物の付加価値向上支援
<p>5.林業</p> <p>健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化</p>	<p>【10年後の目指す姿】 豊富な森林資源が循環利用されるとともに、森林・木材から新たな価値が創造され、儲かる林業・木材産業等が実践されている。</p> <p>1 カラマツ等循環利用が可能な森林の持続的な造成</p> <p>2 次世代を担う林業従事者の確保・育成</p> <p>3 豊富な森林資源を活かした木材利用の拡大</p> <p>4 原木しいたけの担い手育成と経営規模の拡大</p> <p>5 松くい虫被害の拡大阻止とナラ枯れ被害防止対策</p> <p>6 山地災害の未然防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 造林、間伐を促進するため、地域けん引型林業経営体等の活動を支援 ● 「岩手県森林再生機構」の支援を受けるため、低コスト施業をコーディネート ● 森林施業に対応できない森林組合等林業事業体の労務調整システムを支援 ● 林内路網の計画的な整備による効率的な施業を推進 ● 事業体における雇用条件の改善を促進 ● 森林施業に対応できない森林組合等林業事業体の労務調整システムを支援[再掲] ● アカマツ材の利用促進のため、商業施設等での木質内装化を促進 ● リフォーム需要に対応するため、関係団体等との連携強化 ● 生産量の増産のため、担い手に対する技術支援 ● 廃業する生産者と既存の生産者とのマッチングにより経営規模の拡大を支援 ● 原木しいたけの台湾等への輸出拡大の支援 ● 松くい虫被害の防除のため、アカマツ林の樹種転換や広葉樹林化を支援 ● ナラ枯れ被害の侵入を防ぐため監視体制を強化 ● 山地災害危険地区を住民に周知するため市町を支援 ● 危険度の高い地区から計画的に治山事業を実施

	施策の方向性	取組の方向性
<p>6.雇用・労働環境</p> <p>健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化</p>	<p>【10年後の目指す姿】 恵まれた自然環境や岩手の歴史・風土・人の中での暮らしへの評価が高まるとともに、働き方改革の推進等による雇用の質の向上と企業の魅力向上等により、地域産業を支える人材が育成・確保され、仕事と生活が調和した「県民幸福度ナンバーワンいわて」が実現している。</p> <p>1 地域産業を支える人材の育成・確保</p> <p>2 働き方改革の推進等による雇用の質の向上と企業の魅力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域を志向したキャリア教育等による定着の促進(岩手での生活や岩手の企業の良さ等) ● 学術研究機関や産業支援機関などとの連携による、地域の産業を支える人材の育成 ● U・Iターン希望者への情報提供 ● 「健康経営」を通じた人財投資など労働環境面での魅力向上 ● ワーク・ライフ・バランスや働き方改革を踏まえた休養の展開 ● 女性が働きやすい職場環境の整備啓発 ● 子育て世代に配慮した職場環境の整備啓発 ● 障がい者雇用促進の支援
<p>7.交通ネットワーク</p> <p>健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化</p>	<p>【10年後の目指す姿】 復興道路等の整備により圏域内外との交通ネットワークの充実が図られ、産業経済活動や地域間交流が活発化している。</p> <p>1 産業経済活動や圏域内外の交流を担う交通ネットワークの形成・強化</p> <p>2 医療機関への救急搬送ルートの整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 工業製品や農林水産物等物流の効率化を支援するため、幹線道路や生産拠点へのアクセス道路の整備を推進 ● 県北沿岸振興に資する道路整備を推進 ● 広域的な観光振興に資する道路整備を推進 ● 地域医療を支えるため、高次救急医療施設等への搬送ルートの道路整備を推進(岩手医科大学付属病院等の矢巾町移転への対応等)
<p>8.文化・スポーツ 振興</p> <p>健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化</p>	<p>【10年後の目指す姿】 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会のレガシーが、ラグビーワールドカップ 2019 釜石大会や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等により継承・発展し、管内のスポーツ競技力が格段に向上しているほか、誰もが気軽に芸術文化やスポーツに親しむ風土が定着している。また、多くの芸術文化に係る催事やスポーツ大会・合宿等が誘致されるなど、文化・スポーツによる地域経済の活性化が図られている。</p> <p>1 誰もが楽しむ文化・スポーツの推進</p> <p>2 文化・スポーツによる地域経済の活性化</p>	<p><文化></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 個人・団体が多様な文化活動に親しむまちづくり ● ジャンルの異なる芸術活動のコラボをはじめ、新たな文化芸術の創出に向けた取組 <p><スポーツ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 総合型地域スポーツクラブの運営基盤の強化に向けた取組 <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 文化・スポーツ活動に親しむ人口の拡大に向けた取組 ● ラグビーワールドカップ 2019 釜石開催や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿等の誘致と受入体制の強化(盛岡広域スポーツコミッション等との連携) ● 管内の文化・スポーツ施設を活用した芸術文化に係る催事やスポーツ合宿等の誘致に向けた取組 ● 地域プロスポーツチームへの支援と連携・活用

	施策の方向性	取組の方向性
<p>9.地域保健・医療</p> <p>健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化</p>	<p>【10年後の目指す姿】 地域包括ケアシステムの構築や地域医療の充実・健康づくりの推進により住み慣れた地域で健康的で安心して生活し続けることができる地域社会が実現している。</p> <p>1 地域包括ケアシステム構築の推進</p> <p>2 岩手県地域医療構想実現に向けた取組の推進</p> <p>3 健康づくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域的・専門的見地から支援(在宅医療介護連携推進、医療人材確保支援等) ● 地域づくりによる介護予防事業(介護予防に資する住民主体の通いの場の展開)の推進に向けた支援 ● 老人クラブや高齢者の地域づくり団体への活動支援 ● 医療関係者や市町村等を構成員とする地域医療構想調整会議の開催による将来の医療・介護提供体制の検討 ● 地域・職域連携推進会議構成団体等との連携・協働事業の推進 ● 市町及び関係機関・団体と連携した各種健診の普及啓発の実施 ● 現役世代からの健康づくり支援として、事業所及び従業員の健康づくりの意識を高める取組の推進 ● 外食栄養成分表示店の登録の推進及び飲食店や総菜販売店におけるヘルシーメニューの提供を通じた食環境整備
<p>10.福祉</p> <p>健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化</p>	<p>【10年後の目指す姿】 地域生活支援や子育て環境の充実により、障がい者や生活困窮者の社会参加や自己実現が促進されるとともに、安心して子育てができる地域社会が実現している。</p> <p>1 地域生活支援の充実</p> <p>2 子育て環境の充実</p> <p>3 自殺対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各町や関係機関と連携した生活困窮者に対する自立相談支援事業の実施 ● 中間的就労や社会参加活動の場を提供する事業所等の開拓等、就労支援事業の充実 ● 各町、教育委員会、大学等の協力による子どもの学習支援事業の実施と対象生徒等の拡大 ● 盛岡広域圏域自立支援協議会等での助言 ● 障がい者就業・生活支援センターに生活支援や就労支援等の事業を委託 ● 各市町子育て担当者会議の開催による情報交換の実施 ● いわて子育て応援の店協賛店舗数の拡充 ● 関係機関・団体との連携強化 ● 心の健康づくりの一層の推進 ● 人材養成及び育成 ● 子ども・若者や働き盛り世代、高齢者の自殺対策の推進 ● ハイリスク者支援の充実

	施策の方向性	取組の方向性
<p>11.環境</p> <p>健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化</p>	<p>【10年後の目指す姿】 自然環境の保全・保護や地域温暖化対策の推進により、健全で豊かな環境が保全され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会が形成されている。</p> <p>1 地球温暖化対策の推進</p> <p>2 廃棄物対策の推進</p> <p>3 自然環境の保全・保護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭や地域での取組(わんこ節電所、防ごう隊など)を通じた普及啓発 ● 事業者の省エネ活動の取組支援 ● 電気自動車、燃料電池自動車などの導入促進 ● 風力、地熱、温泉熱などの地域のエネルギーを活用した取組の促進 ● 景観、産業廃棄物処理等の問題に対応した発電施設の導入促進 ● 産業廃棄物処理施設等への立入調査・指導の実施 ● 廃棄物の発生抑制第一とする3R運動の普及啓発 ● 盛岡広域管内のごみ、し尿処理広域化協議会への参画 ● 地域における環境保全活動への支援 ● 環境保全活動の指導者の育成、団体と事業者等との連携促進 ● 公共用水域等の水質検査の実施 ● シカやイノシシなどの有害鳥獣による被害対策の推進 ● 野鳥のサーベイランスによる高病原性鳥インフルエンザ対策の推進
<p>12.都市機能</p> <p>健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化</p>	<p>【10年後の目指す姿】 北東北の拠点にふさわしい高次都市機能を支える基盤の充実が図られ、快適な都市環境、生活環境が形成されている。</p> <p>1 公共交通利用の支援や公共施設等へのアクセス向上</p> <p>2 安全安心な歩行空間の整備</p> <p>3 中心市街地の活性化</p> <p>4 污水处理施設の計画的な整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市内の円滑な交通を確保するため、主要渋滞箇所等の街路整備を推進 ● 歩行者や自転車利用者の安全を守るため、歩道の整備や歩行空間の確保を推進 ● 中心市街地の賑わい創出のため、地域住民やNPOが参画し、道路整備を核とした中心市街地の活性化を推進 ● 市町が進める污水处理施設の整備を支援
<p>13.防災対策・危機管理</p> <p>健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化</p>	<p>【10年後の目指す姿】 地震、台風災害等の教訓を踏まえた生命と財産を守る防災対策が講じられ、安全で安心な地域社会が形成されている。</p> <p>1 災害による被害を軽減する洪水・土砂災害対策</p> <p>2 台風災害の教訓を踏まえた防災・減災体制の構築</p> <p>3 災害に強い社会資本の整備</p> <p>4 社会資本の計画的な維持管理</p> <p>5 鳥インフルエンザ発生時の対応力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川の氾濫による浸水被害を防止するため、河川等の整備を推進 ● 土石流等による被害を防止するため、砂防施設を整備するとともに、土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定の推進 ● 火山噴火による被害を防止するため、火山砂防施設を整備 ● 水位周知河川の指定を5か年の取組方針に基づき計画的に推進 ● 緊急輸送道路等の橋梁耐震補強の計画的な推進 ● 橋梁長寿命化計画に基づく橋梁補修の計画的な推進 ● 公営住宅長寿命化計画に基づく建替え、改修の計画的な推進 ● 発生時における対応力の訓練(図上・実働)研修による向上

	施策の方向性	取組の方向性
<p>14.コミュニティ・まちづくり</p> <p>健康 家族 収入 余暇 居住環境 仕事 自然環境 安全 コミュニティ 子育て 教育 歴史・文化</p>	<p>【10年後の目指す姿】 県外からのU I Jターンによる移住者やILC誘致により来県する外国人と県民が融和し、歴史と文化を継承しながらも新たな岩手を創造するコミュニティが形成されている。</p> <p>1 岩手の認知度向上と岩手ファンの拡大・交流人口の増加</p> <p>2 地域コミュニティを牽引する人材の育成</p> <p>3 ILC 設置等に伴う外国人居住者を見据えたまちづくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● みちのく盛岡広域連携中枢都市圏と連携した交流人口の拡大に向けた情報発信の展開 ● 遊休資産を含めた地域資源を活用した日本版CCRC(生涯活躍のまち)の形成 ※「生涯活躍のまち構想」: 地域の高齢者が、希望に応じ、地方や「まちなか」に移り住み、地域社会に溶け込みながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるようなコミュニティづくり・まちづくりのこと。 ● 若者・女性・よそ者(移住者)が活躍できるコミュニティの形成と新たな地域の担い手を支援する人材の育成 ● 外国人研究者やその家族が安心・安全、快適に暮らすことができるハード・ソフトを通じた受入環境の整備(住居、医療、金融、教育等) ※ 今後、盛岡市が策定した「盛岡市の国際化に向けたまちづくりに関する提言書」を踏まえて検討 ● 地域住民との交流を図るための仕組みづくり、多様な文化の理解や国際交流の促進 ● ILC設置によるメリットの最大化を図る施策の検討(観光業(サイエンス・ツーリズム)や農林水産業等の国際展開、関連産業・研究機関の育成・誘致、MICEの誘致等)

(市町村・団体意見等を記載)

- ① 盛岡広域首長懇談会事務検討会議 地方創生連携専門部会
岩手県は知名度が低いので、一層の情報発信が必要。学校・職場は盛岡市、住居は周辺市町というライフスタイルも考えられる。移住定住にしても、観光振興にしても、プロモーション活動は市町単独ではなく盛岡広域での取組みを一層強化していく必要がある。
- ② 県観光協会
観光は地域の総合力が必要であるが、体験、文化、スポーツ、ユニバーサルの視点も重要である。また、多くの会員が、今後の観光客の動向等に危機感を持っている。
- ③ つなぎ温泉観光協会
食の魅力を向上させながら、仙台圏からの誘客の強化が必要である。(宿泊者の割合は、仙台圏からが多い状況)。また、十和田湖観光が盛んだった頃は宿泊客が多かったため、十和田湖方面との周遊観光の復活を期待したい。
- ④ (株)いわてラボ
宿泊業界では、人手不足が深刻化している。高卒採用中心から採用対象の範囲を拡大して、大学生に対するインターンシップ事業の取組等を行うことにより、若手人材の確保に努めていきたいので、引き続き支援をお願いしたい。
- ⑤ 岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会・盛岡市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
広域で総合型地域スポーツクラブやプロスポーツチームの活動を進めていくことが必要。また、地域のプロスポーツチームが試合で勝利することが、県民のパワーにつながり、一番の地域貢献となる。スポーツによる地域の活性化のために、プロスポーツチームを複数の総合型地域スポーツクラブ等をはじめ、地域で支える体制づくりをすることが必要ではないかと思う。